

定 例 公 安 委 員 会

日 時：平成27年1月9日 8時55分～12時45分

出席委員：伊村委員長・入谷委員・天谷委員・小澤委員・中西委員

1 全体審議（公安委員会会議室）

案件	件 名	担当部	出席者
1	年未年始における初詣等雑踏警備の実施結果	地域部	本 部 長 総 務 部 長 警 務 部 長 生活安全部長 地 域 部 長 刑 事 部 長 組 織 犯 罪 対 策 局 長
2	無線中継所の機能喪失を想定した訓練の実施		
3 報告	地域部における主要事件の検挙		
4	組織犯罪対策局における主要事件の検挙	組織犯罪対策局	交 通 部 参 事 官 警 備 部 長 名 古 屋 市 警 部 長
5	交通事故発生状況(平成26年中)	交通部	情 報 通 信 部 長

2 個別審議（公安委員執務室）

案件	件 名	出席者
1 報告	人事案件	本 部 長

案件	件 名	担当部	出席者
2 決裁	苦情及び公安委員会宛文書等の受理(22件)	総 務 部	公安委員会執務官
3 決裁	警察署協議会委員の辞職及び委嘱(5件)		
4 決裁	苦情の調査結果(2件)	警 務 部	住 民 サ ー ビ ス 課 長
5 裁定	犯罪被害者等給付金支給裁定		
6 報告	行政訴訟の判決概要及び終了		
7 報告	ストーカー行為等の規制等に関する法律に基づく禁止命令の実施結果(2件)	生活安全部	子 ども 女 性 安 全 対 策 課 長
8 決裁	風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律施行条例及び愛知県風俗案内所規制条例の一部改正		保 安 課 長
9 決裁	請求妨害防止命令発出に伴う意見聴取の開催について	組織犯罪対策局	組 織 犯 罪 対 策 課 長
10 決裁	愛知県暴力団排除条例施行規則の一部を改正する規則の制定(案)		
11 決裁	愛知県公安委員会における特定秘密の保護に関する規程(愛知県公安委員会規程)の制定(案)	警 備 部	公 安 第 一 課 長 警 務 課 長
12 決定	聴聞等の実施結果・決定 70件	総 務 部	首 席 聴 聞 官 聴 聞 官

議事の概要

1 全体審議

(1) 地域部

ア 年末年始における初詣等雑踏警備の実施結果

地域部長から、年末年始における初詣等雑踏警備の実施結果について、
「12月31日から1月3日までの間、9警察署11か所において初詣等雑踏警備を実施した結果、雑踏事故等の発生はなく終了した」
旨の報告があった。

イ 無線中継所の機能喪失を想定した訓練の実施

地域部長から、無線中継所の機能喪失を想定した訓練の実施について、
「1月22日(木)、大規模地震により無線中継所が損壊し通信が途絶したとの想定で、不感地帯の調査及び代替手段による通信訓練、警察航空機を中継局とした通信訓練を実施する」
旨の報告があった。

ウ 地域部における主要事件の検挙

地域部長から、
公務執行妨害被疑者の検挙概要
強盗未遂被疑者の検挙概要
危険運転致死及び道路交通法違反被疑者の検挙概要
について報告があった。

委員から、
「『個の動き』と『面の動き』がうまくかみ合って、組織的によく対応されている」
旨の発言があった。

(2) 組織犯罪対策局

組織犯罪対策局における主要事件の検挙

組織犯罪対策局長から、
違法薬物密売イラン人の検挙概要
について報告があった。

委員から、
「密売組織の壊滅に向けて、捜査を推進されたい」
旨の発言があった。

(3) 交通部

交通事故発生状況(平成26年中)

交通部参事官から、平成26年中の交通事故発生状況について、
「交通事故死者数は、平成26年中204人で前年中に比べ15人減少した。
交通死亡事故の主な特徴としては、
高齢者が死亡する事故が多発・増加
交差点における死亡事故が多発
歩行者妨害等を原因とする死亡事故が増加
である。

平成27年中における活動方針は、
高度な交通事故分析に基づく各種交通安全対策の推進
県民の安全行動の定着化
個別重点対策の推進
である」
旨の報告があった。

2 個別審議

(1) 人事案件

本部長から、
人事案件
について報告があった。

(2) 公安委員会宛文書等の受理(22件)

公安委員会執務官から、
1月5日までに届いた公安委員会宛の文書等
について報告があり、公安委員会は、交通取締りに関する3件の文書を警察
法第79条に規定する苦情として受理し、警察本部長に対して調査指示する旨
決裁した。

(3) 警察署協議会委員の辞職及び委嘱(5件)

公安委員会執務官から、
警察署協議会委員の辞職及び委嘱
について報告があり、5警察署協議会5人の辞職及び後任者5人の委嘱につ
いて決裁した。

(4) 苦情の調査結果(2件)

住民サービス課長から、
公安委員会宛「少年に対する職務質問に関する苦情」及び「捜査に関す
る苦情」についての調査結果の報告及び申出者に対する通知文案の提示と
説明
があり、審議し、通知文を一部修正して決裁した。

(5) 犯罪被害者等給付金支給裁定

住民サービス課長から、
遺族給付金支給裁定
について説明があり、原案どおり裁定した。

(6) 行政訴訟の判決概要及び終了

訟務官から、
運転免許取消処分取消請求控訴事件の判決概要及び終了
について報告があった。

(7) ストーカー行為等の規制等に関する法律に基づく禁止命令の実施結果

子ども女性安全対策課長から、ストーカー行為等の規制等に関する法律に
基づく禁止命令の実施結果について、
「ストーカー行為等の規制等に関する法律第5条第1項に基づき、禁止
命令2件を実施した」
旨の報告があった。

(8) 風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律施行条例及び愛知県風
俗案内所規制条例の一部改正

保安課長から、風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律施行条
例及び愛知県風俗案内所規制条例の一部改正について、
「就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する
法律が一部改正される予定であり、幼稚園と保育所を統合した施設が同法
律に基づいて設置される幼保連携型認定こども園になることが可能となる。
よって、風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律施行条例及び
愛知県風俗案内所規制条例で定める保護対象施設に『幼保連携型認定こど
も園』を加える」
旨の報告があり、決裁した。

(9) 請求妨害防止命令発出に伴う意見聴取の開催について

組織犯罪対策課長から、
「請求妨害防止命令に伴う、意見聴取を開催する」
旨の報告があり、決裁した。

(10) 愛知県暴力団排除条例施行規則の一部を改正する規則の制定(案)

組織犯罪対策課長から、愛知県暴力団排除条例施行規則の一部を改正する規則の制定(案)について、

「愛知県暴力団排除条例第18条第1項各号において、保護対象施設が定められているが、同条例が改正され、同項第10号に定められた『公安委員会規則で定める施設』が同項第11号に繰り下げられたことから、施行規則中の関係規定を改正する」

旨の報告があり、決裁した。

(11) 愛知県公安委員会における特定秘密の保護に関する規程(愛知県公安委員会規程)の制定(案)

公安第一課長及び警務課長から、愛知県公安委員会における特定秘密の保護に関する規程(愛知県公安委員会規程)の制定(案)について、

「特定秘密の保護に関する法律が平成26年12月10日から施行になったことに伴い、愛知県公安委員会における特定秘密の保護に関する規程を制定し、愛知県公安委員会が特定秘密の保護に関し実施すべき措置を定める」

旨の報告があり、決裁した。

(12) 聴聞等の実施結果・決定

首席聴聞官及び聴聞官から、

運転免許取消処分等に関する意見の聴取等結果 66件

風俗営業等の停止処分に関する聴聞結果 4件

について報告があり、行政処分を決定した。

定 例 公 安 委 員 会

日 時：平成27年1月16日 8時55分～12時35分

出席委員：伊村委員長・入谷委員・天谷委員・小澤委員・中西委員

1 全体審議（公安委員会会議室）

	案件	件 名	担当部	出席者
1	報告	生活安全部における主要事件の検挙	生活安全部	本 部 長 総 務 部 長
2		平成26年中における110番通報受理状況及び緊急配備結果	地域部	警 務 部 長
3		刑法犯・本部重点犯罪の認知・検挙状況(平成26年中)	刑事部	生活安全部長 地 域 部 長
4		組織犯罪対策局における主要事件の検挙	組織犯罪対策局	刑 事 部 長 組 織 犯 罪 対 策 局 長
5		交通死亡事故多発警報の発令に伴う緊急対策の実施	交通部	交 通 部 長
6		陸上自衛隊第10師団との共同実動訓練の実施	警備部	警 備 部 長
7		行進又は集団示威運動に関する条例の許可申請及び許可（平成26年12月中及び平成26年中）		名 古 屋 市 警 察 部 長 情 報 通 信 部 長

2 個別審議（公安委員執務室）

	案件	件 名	担当部	出席者
1	報告	警察署長会議の開催結果	総務部	総 務 課 長
2	決裁	苦情の調査結果（3件）	警務部	住 民 サ ー ビ ス 課 長
3	報告	監察案件		首 席 監 察 官
4	報告	平成26年度秋の業務監察実施結果		
5	報告	ストーカー行為等の規制等に関する法律に基づく警告の実施	生活安全部	子 ども 女 性 安 全 対 策 課 長
6	報告	銃砲所持許可の取消し（2件）		保 安 課 長
7	報告	警察職員の援助派遣（3件）	警備部	警 備 課 長
8	決定	聴聞等の実施結果・決定 57件	総務部	首 席 聴 聞 官 聴 聞 官

議事の概要

1 全体審議

(1) 生活安全部

生活安全部における主要事件の検挙

生活安全部長から、
砂防条例及び砂利採取法違反事件の検挙概要
について報告があった。

委員から、
「テレビなどの報道で大きく取り上げられていた事件であるので、しっかりと捜査を遂げていただきたい」
旨の発言があった。

(2) 地域部

平成26年中における110番通報受理状況及び緊急配備結果

地域部長から、平成26年中における110番通報受理状況及び緊急配備結果
について、
「平成26年の110番受理件数は、666,127件で前年より10,473件減少した。
1日の平均受理件数は1,825件である」
旨報告があった。

委員から、
「不要不急な通報が多くあるようなので、9110などの相談電話へうまく導いていただきたい」
旨の発言があり、
地域部長から、
「110番での問い合わせ等の件数、比率とも、ここ数年大幅な増減はないので、1月10日の『110番の日』の広報などを推進し、110番の効率的運用に努めていく」

旨の説明があった。

(3) 刑事部

刑法犯・本部重点犯罪の認知・検挙状況（平成26年中）

刑事部長から、平成26年中における刑法犯・本部重点犯罪の認知・検挙状況について、

「 刑法犯の認知件数は85,040件で、11,799件減少した
刑法犯の検挙件数は20,721人で、5,536件減少した
刑法犯の検挙率は24.4パーセントで、2.7ポイント下降した
刑法犯の検挙人員は15,229人で、856人増加した
本部重点犯罪の認知件数は42,533件で、9,138件減少した
本部重点犯罪の検挙件数は6,253件で、6,334件減少した
本部重点犯罪の検挙率は14.7パーセントで、9.7ポイント下降した
本部重点犯罪の検挙人員は2,175人で、233人減少した」

旨の報告があった。

(4) 組織犯罪対策局

組織犯罪対策局における主要事件の検挙

組織犯罪対策局長から、

デリバリー型危険ドラッグ販売店経営者らによる旧薬事法違反事件の検挙概要

について報告があった。

(5) 交通部

交通死亡事故緊急警報の発令に伴う緊急対策の実施

交通部長から、交通死亡事故緊急警報の発令に伴う緊急対策の実施につい

て、

「1月14日(水)から24日(土)までの間、交通死亡事故多発警報発令に伴う緊急対策を実施する。

対策内容は、

街頭活動の強化

情報発信活動の強化

等である」

旨の報告があった。

委員から、

「地道な活動を推進し、死亡事故の抑止に努めていただきたい」

旨の発言があった。

(6) 警備部

ア 陸上自衛隊第10師団との共同実動訓練の実施

警備部長から、陸上自衛隊第10師団との共同実動訓練の実施について、

「1月21日(水)、航空自衛隊岐阜基地において、愛知県警察、岐阜県警察、陸上自衛隊第10師団が訓練を実施する」

旨の報告があった。

イ 行進又は集団示威運動に関する条例の許可申請及び許可（平成26年12月中及び平成26年中）

警備部長から、平成26年12月中及び平成26年中の行進又は集団示威運動に関する条例の許可申請及び許可について、

「平成26年12月中、1件の許可申請を受理して、許可した。また、平成26年1年間では、199件の許可申請があり、すべてを許可した。

なお、前年対比では16件減少した」

旨の報告があった。

2 個別審議

(1) 警察署長会議の開催結果

総務課長から、警察署長会議の開催結果について、

「1月13日(火)午後、警察本部講堂において、警察署長会議が開催された。

愛知県知事、名古屋地方検察庁検事正、愛知県公安委員会委員長の来賓挨拶に続き、本部長から、最重要課題である

交通死亡事故の抑止

犯罪の抑止

暴力団の壊滅

等についての訓示があり、その後、各部長等から具体的推進方策に関する指示が行われた」

旨の報告があった。

(2) 苦情の調査結果(3件)

住民サービス課長から、

公安委員会宛「捜査手続に関する苦情」、「被害受理に関する苦情」及び「事案対応に関する苦情」についての調査結果の報告及び申出者に対する通知文案の提示と説明

があり、審議し、いずれも原案どおり決裁した。

(3) 監察案件

首席監察官から、

監察案件

について報告があった。

(4) 業務監察等の実施結果

首席監察官から、

平成26年度秋の業務監察実施結果

について報告があった。

(5) ストーカー行為等の規制等に関する法律に基づく警告の実施

子ども女性安全対策課長から、ストーカー行為等の規制等に関する法律に基づく警告の実施について、

「平成26年12月中は、ストーカー行為等の規制等に関する法律に基づき、面会等要求、連続電話、待ち伏せ等を理由に36件の警告を実施した」旨の報告があった。

委員から、

「警告の件数が増えているということは、それだけ警察が信頼されていることの証である。今後も幅広く相談を受けていただきたい」

「難しいケースも多いと思うが、警察が最後の砦であるので、しっかりと対応していただきたい」

旨の発言があった。

(6) 銃砲所持許可の取消し(2件)

保安課長から、銃砲所持許可の取消しについて、

「銃砲刀剣類所持等取締法に基づき銃砲所持許可の取消し処分を行うため聴聞を実施する」

旨の報告があった。

(7) 警察職員の援助派遣(3件)

警備課長から、警察職員の援助派遣について、

「福島県公安委員と福井県公安委員会から、警戒警備のため、本県公安委員会に対し、警察法第60条第1項に基づく援助要求があり、必要な警察職員を派遣する」

旨の報告があった。

委員から、

「大変な業務であるが、しっかりと警戒に従事していただきたい」

旨の発言があった。

(8) 聴聞等の実施結果・決定

首席聴聞官及び聴聞官から、
運転免許取消処分等に関する意見の聴取等結果 57件
について報告があり、行政処分を決定した。

定 例 公 安 委 員 会

日 時：平成27年 1月23日 9時20分～12時45分

出席委員：伊村委員長・入谷委員・天谷委員・小澤委員・中西委員

1 全体審議（公安委員会会議室）

案件	件 名	担当部	出席者
1	愛知県警察本部尾張留置施設の拡充に伴う春日井警察署留置施設の供用の終了	総務部	本 部 長
2	2月の行事予定	警務部	総 務 部 長
3	平成26年警察運営の基本目標達成のための取組結果		警 務 部 長
4	情報公開及び自己情報の開示請求等の状況(平成26年中)		生活安全部長
5	人身安全対処事案取扱状況(平成26年 4～12月)		地 域 部 長
6	組織犯罪対策局における主要事件の検挙	生活安全部	刑 事 部 長
7	中部国際空港における航空機強取事件対応訓練の実施	組織犯罪対策局	組 織 犯 罪 対 策 局 長
8	平成26年度愛知県警察総合警備訓練の実施	警備部	交 通 部 長
9	名古屋市との治安連絡会の開催		名古屋警察部長
		名古屋市警察部	情報通信部長

2 個別審議（公安委員執務室）

案件	件 名	担当部	出席者
1	決裁 苦情及び公安委員会宛文書等の受理(6件)	総務部	公安委員会執務官
2	決裁 激励の上申		
3	報告 平成27年度地方警察官の増員	警務部	警 務 課 長
4	決裁 苦情の調査結果(2件)		住 民 サ ー ビ ス 課 長
5	報告 監察案件		首 席 監 察 官
6	報告 交通事故統計外の事故等(平成26年第4四半期)	交通部	交 通 総 務 課 長
7	決定 運転免許取消処分に対する異議申立て		運 転 免 許 課 次 長
8	決定 運転者区分決定に対する異議申立て(2件)		
9	裁決 運転免許停止処分に対する審査請求		
10	報告 警察職員の援助派遣	警備部	公安第二課長
11	決定 聴聞等の実施結果・決定 64件	総務部	聴 聞 官

議事の概要

1 全体審議

(1) 総務部

愛知県警察本部尾張留置施設の拡充に伴う春日井警察署留置施設の供用の終了

総務部長から、愛知県警察本部尾張留置施設の拡充に伴う春日井警察署留置施設の供用の終了について、

「女性被留置者の収容能力を高めるため、春日井警察署留置施設を女性専用施設とするとともに、本部直轄留置施設に変更することで尾張留置施設を拡充する」

旨の報告があった。

委員から、

「男性用から女性用に変更するに際し、設備面の変更は必要なのか」旨の質問があり、

総務部長から、

「施設的には問題はないが、寝具の入れ替え等を実施する」旨の説明があった。

(2) 警務部

ア 2月の行事予定

警務部長から、2月の行事予定について、

「県警強調業務は、
悪質性、危険性及び迷惑性の高い交通違反取締りの強化
で、各部強調業務は、
街頭における検挙活動の強化
である」

旨の報告があった。

イ 平成26年警察運営の基本目標達成のための取組結果

刑事部長、生活安全部長、交通部長、組織犯罪対策局長から、

「平成26年警察運営の基本目標達成のための取組結果と本年の取組について、

犯罪の抑止

平成26年の刑法犯認知件数は85,040件で、前年比11,799件、12.2パーセント減少した。

本部重点犯罪の検挙人員は2,235人で、前年比229人、9.3パーセント減少、検挙件数は6,321件で、前年比6,336件、50.1パーセント減少となった。

主な特徴としては、特殊詐欺被害が大幅に増加し、また、各種施策を推進したものの、侵入盗、自動車盗被害が全国ワースト1位という結果であった。

本年は、侵入盗及び自動車盗を敢行する組織窃盗グループの壊滅を目的としたプロジェクトチームを編成し、総力を挙げた取締りの実施、人身安全対処事案への迅速な対応等に取り組む。

交通死亡事故の抑止

平成26年中の交通事故死者数は204人で、前年比では15人減少したものの、12年連続で全国ワースト1位という結果になった。

本年は、『交通事故死者数の185人以下への抑止』を目標とし、交通事故分析の高度化及び分析の成果を活用した綿密な交通安全対策の推進、交通事故多発交差点対策「ACT-45」や「ゾーン30」等の交通危険箇所対策の推進に取り組む。

弘道会を中心とした暴力団の壊滅に向けた対策の強化

昨年、弘道会傘下組織組長らによる逮捕監禁、傷害事件の検挙、山口組傘下組織幹部らによる融資金詐欺事件の検挙等の成果を挙げることができた。

また、暴力団を社会から孤立させるための総合対策の強化、暴力団対策法及び愛知県暴力団排除条例の効果的な運用等の施策を推進した。

本年は、暴力団犯罪の取締りを徹底し、引き続き暴力団を社会から孤立させるための総合対策の強化に取り組む」

旨の報告があった。

委員から、
「検挙件数の減少には何か理由があるのか」
旨の質問があり、
刑事部長から、
「余罪捜査が困難になりつつあることも一つの要因である」
旨の説明があった。

また、委員から、
「県民の意識改革を行うためには、行政全体で啓発活動を取り組まないと、被害は減らないのではないか。教育や広報などについて、警察だけでなく、他の行政機関との連携に努めていただきたい」
旨の発言があり、
本部長から、
「愛知県は大規模県でありながら地域のコミュニティーの連携も強いので、そうした基盤を生かして効果的な施策を推進していきたい」
旨の説明があった。

ウ 情報公開及び自己情報の開示請求等の状況(平成26年中)

警務部長から、情報公開及び自己情報の開示請求等の状況(平成26年中)について、
「平成26年中における情報公開の開示請求件数は、公安委員会宛てが4件(前年対比1件減少)で、警察本部長宛てが392件(前年対比107件増加)であった。
自己情報の開示請求件数は、公安委員会宛てが1件(前年対比2件減少)で、警察本部長宛てが329件(前年対比55件増加)であった」
旨の報告があった。

(3) 生活安全部

人身安全対処事案取扱状況(平成26年4～12月)

生活安全部長から、人身安全対処事案取扱状況(平成26年4～12月)について、

「平成26年4月から12月までの間に取り扱った人身安全対処事案は5,241件であった。そのうち、検挙に至った事案は401件、警告を実施した事案は1,035件、保護等を実施した事案は1,197件であった」
旨の報告があった。

本部長から、
「愛知県警察本部では、24時間の専従体制で対応しているが、執務時間外の対応がほとんどである。警察署の体制が弱い場合もあるが、適切に対応していく」
旨の説明があった。

(4) 組織犯罪対策局

組織犯罪対策局における主要事件の検挙

組織犯罪対策局長から、
山口組傘下組織組長らによる愛知県暴力団排除条例違反事件の検挙概要について報告があった。

(5) 警備部

ア 中部国際空港における航空機強取事件対応訓練の実施

警備部長から、中部国際空港における航空機強取事件対応訓練の実施について、

「ハイジャック事件の発生に備え、関係機関が連携して総合的な対応訓練を行い、事案発生から解決までの一連の対応要領について確認するため、訓練を実施する」
旨の報告があった。

イ 平成26年度愛知県警察総合警備訓練の実施

警備部長から、平成26年度愛知県警察総合警備訓練の実施について、

「多様化する警備事象に的確に対処するとともに、平成28年のサミットや平成32年の東京五輪を見据え、集団警備力としての部隊の練度を更に高め、士気を高揚し、対処能力の向上を図るため、総合警備訓練を実施する」

旨の報告があった。

(6) 名古屋市警察部

名古屋市との治安連絡会の開催

名古屋市警察部長から、名古屋市との治安連絡会の開催について、

「1月28日（水）午後3時30分から、名古屋市との治安連絡会を名古屋市役所において開催する。当県警察からは本部長以下12人、名古屋市からは市長以下17人が出席予定である」

旨の報告があった。

2 個別審議

(1) 苦情及び公安委員会宛文書等の受理（6件）

公安委員会執務官から、

1月20日までに届いた公安委員会宛の文書等について報告があり、公安委員会は「交通取締りに関する申出」を警察法第79条に規定する苦情として受理し警察本部長に対して調査指示する旨決裁した。

(2) 激励の上申

公安委員会執務官から、

砂防条例及び砂利採取法違反事件捜査本部に対する激励の上申について報告があり、決裁した。

(3) 平成27年度地方警察官の増員

警務課長から、
平成27年度地方警察官の増員
について報告があった。

(4) 苦情の調査結果(2件)

住民サービス課長から、
公安委員会宛「告訴の受理に関する苦情」、「捜査に関する苦情」につ
いての調査結果の報告及び申出者に対する通知文案の提示と説明
があり、審議し、いずれも原案どおり決裁した。

(5) 監察案件

首席監察官から、
監察案件
について報告があった。

(6) 交通事故統計外の事故等(平成26年第4四半期)

交通総務課長から、
平成26年第4四半期における交通事故統計外の事故等
について報告があった。

委員から、
「より正確な事故の統計に努めていただきたい」
旨の発言があった。

また、委員から、
「自転車運転者講習制度について新聞報道等でも取り上げられているが、
相当に力を入れて推進する必要がある制度であるので、しっかりとした準
備と対応をしていただきたい」

旨の発言があり、

交通総務課長から、

「閣議決定がなされたところであるが、自転車に起因する事故が多発しているので、指導に努めている。今後、詳細が決定次第、改めて報告する」旨の説明があった。

(7) 運転免許取消処分に対する異議申立て

運転免許課次長から、運転免許取消処分に対する異議申立てについて、

「運転免許取消処分に対する異議申立てに係る審理経過調書」及び「決定書案」の提示と説明

があり、審議し、原案どおり決定した。

(8) 運転者区分決定に対する異議申立て(2件)

運転免許課次長から、運転者区分決定に対する異議申立て(2件)について、

「運転者区分決定に対する異議申立てに係る審理経過調書」及び「決定書案」の提示と説明

があり、審議し、決定書を一部修正して、決定した。

(9) 運転免許停止処分に対する審査請求

運転免許課次長から、運転免許停止処分に対する審査請求について、

「運転免許停止処分に対する審査請求に係る審理経過調書」及び「裁決書案」の提示と説明

があり、審議し、原案どおり裁決した。

(10) 警察職員の援助派遣

公安第二課長から、警察職員の援助派遣について、

「山梨県公安委員会から、治安警備のため、警察法第60条第1項に基づく援助要求があり、必要な警察職員を派遣する」

旨の報告があった。

(11) 聴聞等の実施結果・決定

首席聴聞官及び聴聞官から、
 運転免許取消処分等に関する意見の聴取等結果 62件
 請求妨害防止命令に係る意見聴取結果 2件
について報告があり、行政処分を決定した。

定 例 公 安 委 員 会

日 時：平成27年1月30日 9時30分～13時00分

出席委員：伊村委員長・入谷委員・天谷委員・小澤委員

1 全体審議（公安委員会会議室）

案件	件 名	担当部	出席者
1	警察署協議会の運営状況等	総務部	本 部 長 総 務 部 長 警 務 部 長 生活安全部長 地 域 部 長 刑 事 総 務 課 長 組 織 犯 罪 対 策 局 長 交 通 部 長 警 備 部 長 名 古 屋 市 警 察 部 長 情 報 通 信 部 長
2	「ヤングボランティアサミットinあいち」の開催	生活安全部	
3	「非行防止シンポジウムあいち2015」の開催		
4	地域部における主要事件の検挙(2件)	地域部	
5	特殊詐欺対策緊急プロジェクトの発足	刑事部	
6	刑事部における主要事件の検挙		
7	組織犯罪対策局における主要事件の検挙(2件)	組織犯罪対策局	
8	愛知県警察災害対策アドバイザーの委嘱	警備部	

2 個別審議（公安委員執務室）

案件	件 名	担当部	出席者
1	報告 被疑者取調べ監督の実施状況（平成26年中）	総務部	総 務 課 長
2	決裁 苦情及び公安委員会宛の文書等の受理(4件)		公 安 委 員 会 執 務 官
3	決裁 警察署協議会委員の辞職及び委嘱		
4	決裁 苦情の調査結果(2件)	警務部	住 民 サ ー ビ ス 課 長
5	裁決 自己情報開示請求等に係る決定に対する審査請求及び裁決書(案)(5件)		
6	決裁 自己情報開示決定等に係る審査請求に対する愛知県個人情報保護審議会への諮問の取下げ(4件)		捜 査 第 二 課 長
7	決裁 自己情報開示請求等に係る決定に対する審査請求及び愛知県個人情報保護審議会への諮問(2件)		
8	決裁 情報公開請求に係る不開示決定に対する審査請求及び愛知県情報公開審査会への諮問		首 席 監 察 官
9	報告 監察案件	交 通 部	放 置 駐 車 対 策 セ ン タ ー 所 長
10	決定 放置違反金納付命令に対する異議申立て		
11	決定 聴聞等の実施結果・決定 61件	総務部	首 席 聴 聞 官 聴 聞 官

議事の概要

1 全体審議

(1) 総務部

警察署協議会の運営状況等

総務部長から、警察署協議会の運営状況等について、

「平成26年中の定例会は、各警察署とも四半期に1回開催し、平均開催時間は1時間43分、警察署協議会委員の平均出席率は88.4パーセントであった。今後も制度の趣旨に則った運営を行う」

旨の報告があった。

委員から、

「若い人や外国籍の方を今以上に委員として委嘱し、警察活動に意見を反映させることが大切だと考えるので、今後も委員の選定に配慮されたい」旨の発言があった。

(2) 生活安全部

ア 「ヤングボランティアサミットinあいち」の開催

生活安全部長から、「ヤングボランティアサミットinあいち」の開催について、

「2月13日（金）午後2時から、ウインクあいちにおいて、学生防犯ボランティア活動の一層の活性化と若い世代による防犯ボランティア活動への参加促進を図ることを目的に、『ヤングボランティアサミットinあいち』を開催する」

旨の報告があった。

イ 「非行防止シンポジウムあいち2015」の開催

生活安全部長から、「非行防止シンポジウムあいち2014」の開催につい

て、

「2月5日(木)午後1時から、東区のウィルあいちにおいて、『非行防止シンポジウムあいち2015』を開催する。

このシンポジウムは、少年の非行を防止し、その健全育成を図るため、少年警察ボランティア、愛知県、名古屋市、警察等の関係者が一堂に会し、少年の非行問題に関する理解を深めるとともに、関係者間の一層の連携強化を図り、非行少年を生まない社会づくりの基盤形成に資することを目的としている」

旨の報告があった。

(3) 地域部

地域部における主要事件の検挙(2件)

地域部長から、迅速的確な初動警察活動による、

豊田市喜多町地内における金融機関強盗未遂事件の検挙概要

高浜市青木町地内における金融機関強盗事件の検挙概要

について報告があった。

(4) 刑事部

ア 特殊詐欺緊急対策プロジェクトの発足

刑事総務課長から、

「特殊詐欺の被害は、本年も昨年を上回るペースで多発していることから、被害の急増傾向に歯止めをかけ、被害を減少させるために、『特殊詐欺対策緊急プロジェクト』を発足し、2月1日から運用を開始する」旨の報告があった。

委員から、

「限られた人員で重点的な取組みをよく推進されており、成果の上がることを期待している」

旨の発言があり、

本部長から、

「犯行グループに『愛知県では必ず捕まる』と思わせるよう、情報と人員を集約して諸対策を強力に推進していく」旨の説明があった。

また、委員から、
「金融機関の対応はいかがか。金融機関によって対応に差はあるのか」旨の質問があり、
本部長から、
「やや温度差が認められるので、啓発活動や協力依頼を一層進めていく」旨の説明があった。

イ 刑事部における主要事件の検挙

刑事総務課長から、
昭和区山花町地内における殺人事件の検挙概要
について報告があった。

(5) 組織犯罪対策局

組織犯罪対策局における主要事件の検挙(2件)

組織犯罪対策局長から、
山口組直系組長らによる用心棒代名目の恐喝事件の検挙概要
危険ドラッグインターネット販売店経営者らによる旧薬事法違反事件
の検挙概要
について報告があった。

(6) 警備部

愛知県警察災害対策アドバイザーの委嘱

警備部長から、

「各種発生し得る災害に対して、適切な災害対策を推進するため、専門知識を有する有識者を災害対策アドバイザーとして委嘱する」旨の報告があった。

委員から、
「警察署の建て替えや耐震工事の場合も助言を得るのか」旨の質問があり、
警備部長から、
「必要な助言を受けて実施している」旨の説明があった。

2 個別審議

(1) 被疑者取調べ監督の実施状況(平成26年中)

総務課長から、
平成26年中における被疑者取調べ監督の実施状況について報告があった。

委員から、
「適正な取調べを行うため、制度の目的に沿った形で業務を推進していただきたい」旨の発言があった。

(2) 公安委員会宛文書等の受理(4件)

公安委員会執務官から、
1月28日までに届いた公安委員会宛の文書等4件について報告があり、公安委員会は、「事件捜査に関すること」の文書を警察法第79条に規定する苦情として受理し、警察本部長に対して調査指示する旨決裁した。

(3) 警察署協議会委員の辞職及び委嘱

公安委員会執務官から、
警察署協議会委員の辞職及び委嘱
について報告があり、1 警察署協議会 1 人の辞職及び後任者 1 人の委嘱につ
いて決裁した。

(4) 苦情の調査結果(2 件)

住民サービス課長から、
公安委員会宛の「捜査に関する苦情」2 件についての調査結果の報告及
び申出者に対する通知文案の提示と説明
があり、審議し、いずれも原案どおり決裁した。

(5) 自己情報開示請求等に係る決定に対する審査請求及び裁決書(案)(5 件)

住民サービス課長から、自己情報開示請求等に係る決定に対する審査請求
(5 件)について、
自己情報開示請求等の決定に対する審査請求に係る審理経過の報告とと
もに「裁決書(案)」の提示と説明
があり、審議し、いずれも原案どおり裁決した。

(6) 自己情報開示決定等に係る審査請求に対する愛知県個人情報保護審議会へ
の諮問の取下げ(4 件)

住民サービス課長から、
「愛知県個人情報保護審議会に行っていた諮問について取下げを行う」
旨の説明があり、いずれも原案どおり決裁した。

(7) 自己情報開示請求等に係る決定に対する審査請求及び愛知県個人情報保護
審議会への諮問(2 件)

捜査第二課長から、

「自己情報開示請求等に係る決定に対する審査請求がなされたことから、愛知県個人情報保護条例第43条の規定に基づき、愛知県個人情報保護審議会に諮問するとともに、諮問した旨を申立人に通知する」旨の説明及び諮問文案等の提示があり、いずれも原案どおり決裁した。

(8) 情報公開請求に係る不開示決定に対する審査請求及び愛知県情報公開審査会への諮問

捜査第二課長から、

「情報公開の不開示決定処分に対する審査請求がなされたことから、愛知県情報公開条例第19条の規定に基づき、愛知県情報公開審査会に諮問するとともに、諮問した旨を審査請求人に通知する」旨の説明及び諮問文案等の提示があり、原案どおり決裁した。

(9) 監察案件

首席監察官から、

監察案件

について報告があった。

(10) 放置違反金納付命令に対する異議申立て

放置駐車対策センター所長から、放置違反金納付命令に対する異議申立てについて、

「放置違反金納付命令に対する異議申立てに係る審理経過調書」及び「決定書案」の提示と説明があり、審議し、原案どおり決定した。

(11) 聴聞等の実施結果・決定

首席聴聞官及び聴聞官から、

運転免許取消処分等に関する意見の聴取等結果 58件

風俗営業等の停止処分に関する聴聞結果
について報告があり、行政処分を決定した。

3件